

講演会

# 小杉放菴

参加費  
**無料**

## 画家として、 田端人 として



田端文士芸術家村の草分けである画家・小杉放菴。

友人の芥川龍之介をして

「本職の油画や南画以外にも詩を作り、

句を作り、歌を作る。呆れはてたる器用人」と称されました。

洋画から日本画に転じ、独自の水墨画で新境地を開いた

放菴の画業と、田端での暮らしについてお話しします。

※放菴は他に未醒、放庵と号した。

小杉放菴《灌苑図》(1930年頃、紙本着色 小杉放菴記念日光美術館蔵)

2024年

**3/10** [日] 14:00 開演  
(13:30 開場)

**田端文士村記念館**  
多目的ホール

JR山手線・京浜東北線  
「田端駅」北口より徒歩2分

※駐車・駐輪は隣接の有料施設をご利用ください。



講師： **迫内 祐司氏**

小杉放菴記念日光美術館学芸員

1981年、福岡県北九州市生まれ。2008年より小杉放菴記念日光美術館学芸員として勤務し、「山崎省三・村山槐多とその時代」(2014年)、「華嚴社一下野の画人たち」(2022年)ほか、小杉放菴に関する様々な展覧会を担当。「小杉放菴にとっての酒と友」(『酒運び』)、「小杉放菴の戦争観をめぐって」(『美術運動史研究会ニュース』182号)、「小杉放菴の文芸ネットワーク」(『歴史と文化』31号)など多くの論文を執筆。

- 申込：右の専用フォームまたは往復はがきで  
**2/19(月)** 必着。1件につき2名まで可。

往信用裏面：①イベント名②住所  
③氏名(2名の場合は全員分)  
④電話番号⑤年齢

返信面表面：応募者の住所・氏名

- 定員：80名(応募者多数の場合抽選、全席自由) 専用フォーム



予告 / 2024年  
関連企画展 2/23日[金・祝]~5/26日[日]

**芸術家のお住居拝見**  
～アトリエでの創作風景と暮らし

※休館日を除く。10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場  
無料

小杉放菴、板谷波山、吉田三郎、岩田専太郎など田端に暮した画家・彫刻家・工芸家たちの逸品を展示するとともに、当時のアトリエでの創作風景を紹介します。



1938年 田端の画室にて 小杉放菴

主催・宛先・問合せ

(公財)北区文化振興財団

**田端文士村記念館**  
〒114-8523 東京都北区田端6-1-2

☎ 03-5685-5171 ✉ @bunshimura  
<https://kitabunka.or.jp/tabata/>